

本サイトは、日本学術振興会科学研究費補助金の基盤研究(B)(一般) 16H03813)、挑戦的萌芽研究(15K13252)、平成28年度公益財団法人三菱財団社会福祉事業・研究分野の助成を受けて制作されています。

#### 【研究メンバー】

代表	中野 聡子	大阪大学 キャンパスライフ健康支援センター 講師
分担研究者	原 大介	豊田工業大学 工学部 教授
	金澤 貴之	群馬大学 教育学部 教授
連携研究者	望月 直人	大阪大学キャンパスライフ健康支援センター 准教授
	楠 敬太	大阪大学キャンパスライフ健康支援センター 特任研究員
研究協力者	池谷 航介	岡山大学 学生総合支援センター 准教授
	細井 裕子	大阪大学キャンパスライフ健康支援センター 事務補佐員(手話通訳)
	川鶴 和子	大阪大学キャンパスライフ健康支援センター 事務補佐員(手話通訳)
	藤本 富美枝	大阪大学キャンパスライフ健康支援センター 事務補佐員(手話通訳)
	白澤 麻弓	筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター 准教授
	河野 純大	筑波技術大学産業科学技術学部 准教授
	三好 茂樹	筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター 准教授
	松崎 丈	宮城教育大学 教育学部 准教授

この他、本事業においては、多くの方々にご協力をいただきました。

「通訳練習素材集」として、授業記録映像を快くご提供してくださった先生方、仲介や記録データアクセスの労をとってくださった大阪大学全学教育推進機構の山口和也教授、浦田悠講師に厚く御礼申し上げます。

より学術的な手話通訳の分析にあたっては、関西地域をはじめとして、多くの手話通訳者の方々に実験にご協力いただきました。

本サイトの特徴は、学術手話通訳が目指すべきモデルとして、ろう通訳者の訳出表現から学ぶことにあります。本事業におけるセミナー等の講師、及び本サイトのモデル通訳者として、優れたろう通訳者及び手話通訳養成指導者である、国立障害者リハビリテーションセンター学院手話通訳学科の木村晴美教官、小林信恵非常勤講師、関西学院大学手話言語研究センターの前川和美助教に、ご協力をいただきました。

高等教育機関で聴覚障害がい学生に対する手話通訳支援を普及させていくためには、大学間連携による学術手話通訳養成指導やフォローが大切だと考えています。そのため、本事業における「学術手話通訳のための実

「実践セミナー」では、関西地域で、障がい学生支援に取り組む大学や手話言語研究のトップランナーである機関が連携して企画実施にあたりました。国立民族学博物館人類基礎理論研究部日本財団助成手話言語学研究部門の飯泉菜穂子教授、岡山大学学生総合支援センターの池谷航介准教授、京都大学学生総合支援センター（高等教育アクセシビリティプラットフォーム:HEAP）の村田淳准教授、宮谷祐史特定職員、関西学院大学人間福祉学部・手話言語研究センターの松岡克尚教授、下谷奈津子助教、および手話言語研究センター職員のみなさま、大阪教育大学教育学部・障がい学生修学支援ルーム長の井坂行男教授および支援ルーム職員のみなさまに、ご協力いただきました。また、日本特殊教育学会より後援をいただきました。

これほど多くの方々の支えがあってこそ、研究成果公開として本サイトの開設につながったことを、厚く御礼申し上げます。

2019年6月1日

中野 聡子